



## 日中の友好交流にぎやかに!!

春！富谷市日中の「新春の集い」（2月18日）を皮切りに在仙の華僑華人、留学生を交えての友好交流が盛んに行われました。2月24日には県青年委員会（新沼光昭委員長）が恒例となった「元宵節を祝う会」を国際センターで行いました。富谷市日中からも多くの会員が参加、また役員として応援しました。会ではお団子やお菓子をいただきながら華人による日舞、中国語のなぞなぞクイズ、ビンゴゲームなどで仲良く交流を深めました。写真㊤



また3月10日には、県女性委員会（水戸憲子委員長）の主催で「第30回おひなまつり会」が国際センターで行われました。雛祭り由来の話とアニメ上映やギターを伴奏に『北国の春』、男子留学生による『昴』、女子留学生『月亮代表我的心』や子供たちや皆で『幸せなら手をたたこう』を合唱、仙台華花踊りチームの少数民族の踊りもあり、大いに盛り上がりました。おひなまつりを祝う雛あられ付きのお弁当も華やかで、楽しい交流となりました。写真㊦



なお前号で紹介できませんでしたが、東北地区学友会（張馨予会長）が主催した「新春お祝い会」が、2月9日に三条町の国際交流会館で開催され、佐々木謙・県協会会長等の代表が招待され、餃子づくりやゲーム等に参加し、旧正月の大晦日を祝いました。写真㊧



「孔丘」宮城谷昌光著（文春文庫 上下・各880円）

孔丘という孔子の本名の呼び捨て名を用

いる事で、神格化された従来の孔子像や「論語」解説をメインにした書ではない著者の意図が見える。春秋時代の魯国に生まれ、礼を取り扱いながら教場で青年を育成していく。そして学問への探究心から周に留学するのである。貴族・豪族との軋轢の中、14年にわたり、弟子たちと戦乱の中、亡命、遊説の旅を続け“仁”を説いていく“教育者・孔子”を描いた大河小説である。名著・井上靖氏の『孔子』と併読してみてもは、と思った。(M)

**中国雑技団**  
**MIRACLE ZATSUGI**  
**公演迫る！**  
美しさと力強さが織りなす  
**神業！**



中国雑技団の公演が行われます。

<日時> 5月1日（水）

14時と18時半の2回

<会場> 東京エレクトロンホール宮城

<主催> MIN-ON

<共催> 中国人民対外友好協会

<後援> 中国駐日本国大使館

日本中国友好協会 ほか

<入場料金> S席8000円、A席7500円

※ローソン・チケットぴあ等

当日学生券2700円

※問い合わせ MIN-ON仙台

☎022-355-4772